

ジャパングジュエリーフェアでの JGS 初セミナーを終えて

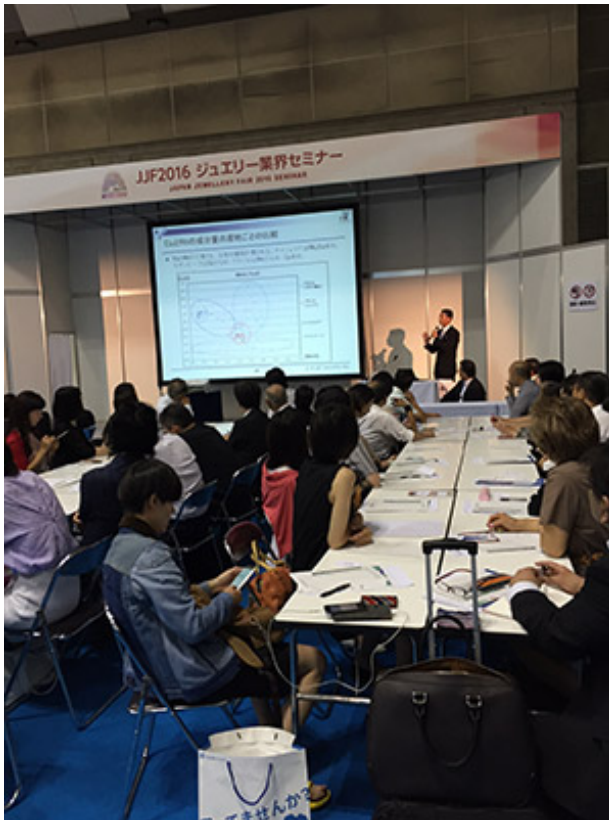
JGS 監事 古屋正貴

ジャパングジュエリーフェアの二日目に、JGS 初となるセミナー、本当の宝石勉強会 1 「パライバ・トルマリン」を開催致しました。パライバ・トルマリンの関心の高さ、JGS への期待の高さもあってか、事前の予約だけで 110 名と数あるセミナーの中で一番に締め切りとなる事前申込みを頂きました。当日も 75 名のご参加を頂き、セミナーは大変盛況となりました。

当日は、理事長にご挨拶と JGS の紹介を頂いた後、私から 15 分少しでパライバ・トルマリンの概略を説明させて頂きました。その後、各理事よりご協力頂き、集めて頂いたブラジル、バタリアを始めとする各産地のサンプルを、ご参加頂いた皆様に 4 グループに分かれてご回覧頂き、さらにグループごとに理事の方 2 人に中心となっただき、ご感想をまとめて頂き、JGS の勉強会の雰囲気を経験して頂きました。

事前には 50 名ほどと予想された参加者に合わせていたサンプル石は 75 名の実際ご参加された方には少し足りない感じもあり、手持ち無沙汰になってしまった方がいたことは残念でした。また、班ごとに感想をまとめるのも人数が多くなってしまったため、少し難しかったようで反省点も残りました。しかし、ご参加頂いた方からはこのように一度に多数の産地のものを比較することが出来てよかった、ブラジルの石にも緑っぽいものもあることを初めて知ったなどとの、喜ばしいご感想も頂き、さらにグループで意見を集めているときにも講義の内容にもご質問を頂いたり、積極的なご参加を頂く事が出来ました。





また、少し物足りないという方にも、JGS の通常の勉強会ではこれが3倍の長さ、1/4 の人数で濃密に体験できる旨をお伝えし、JGS への集客につながるのではないかと考えております。今後また展示会主催者より次の機会が得られれば、今回の反省を踏まえてより充実したセミナーを提供して参りたいと考えております。最後になりますが、ご協力頂きました各理事の皆様に、改めて御礼申し上げます。